

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科(昼夜間部)		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	地域言語聴覚療法学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	後期	教室名	401
担 当 教 員	辻一功 成川多慧子 新山愛子 藤本忠寛 藤原淳寛 藤本光輝	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
言語聴覚療法が人々の健康と生活に貢献するには地域での生活に視点を置いた活動と参加を重視したサービスの提供が不可欠であり、今後は従来の医療施設で提供する言語聴覚療法を超えた知識、技術、価値観が求められる。本講義では「地域」をキーワードに今後言語聴覚士としてどのように社会貢献していくのかを学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
学期末テスト						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
参考図書:言語聴覚士テキスト4版						
《授業外における学習方法》						
予習と復習 (藤本忠)現場で関わる事のある多職種の仕事に触れる機会です。学習した内容を復習し、学生同士で意見交換して下さい。						
《履修に当たっての留意点》						
現在のような変化の激しい状況では、言語聴覚士という枠組みを超えた支援が求められるのではないのでしょうか。共に学びましょう。 (藤本忠)チーム医療について学ぶ機会ですので積極的に質問など行ってください。また介助やポジショニングを行いますの						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	地域における小児分野の言語聴覚士の全体像を説明できる		PC・スライド・配布資料	参考図書の該当頁を通読しておくこと
		各コマにおける授業予定	地域における小児言語聴覚療法の意義と背景、支援が展開される場の概要、ライフステージに沿った支援の流れや基本的な制度を学ぶ			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	各領域(医療・福祉・教育・保健)におけるSTの役割を説明できる		PC・スライド・配布資料	参考図書の該当頁を通読しておくこと
		各コマにおける授業予定	保健・医療・福祉・教育の各領域における言語聴覚士の役割と業務内容を学ぶ。			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	小児分野の言語聴覚士が行う家族支援について説明できる		PC・スライド・配布資料	参考図書の該当頁を通読しておくこと
		各コマにおける授業予定	言語聴覚士が行う家族支援の視点の役割を学ぶ			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	補聴器店での言語聴覚士の活動や業務を説明できる		配布プリント、PCスライド	事前学習としてテキスト、参考図書の該当頁通読
		各コマにおける授業予定	補聴器店における業務や言語聴覚士としての活動を説明できる。			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	補聴器店での人々の健康と生活への貢献を説明できる		配布プリント、PCスライド	事前学習としてテキスト、参考図書の該当頁通読
		各コマにおける授業予定	補聴器店における人々の健康と生活への貢献について学ぶ			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	作業療法士の業務内容を説明できる。	PC・スライド、配布資料	医療現場における他職種について興味を持つておくこと
		各コマにおける授業予定	作業療法士の業務内容を学ぶ。		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	正しい介助技術を理解し、適切なポジショニングが出来るようになる。	PC・スライド、配布資料	基本的な介助技術や車椅子のポジショニングについて予習しておくこと
		各コマにおける授業予定	ベッド上での移動方法や車椅子への移乗方法、適切なポジショニングについて学ぶ。		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	言語聴覚士として地域支援の在り方について説明できる。	PC・スライド、配布資料	参考図書の該当頁を通読しておくこと
		各コマにおける授業予定	作業療法士から見た言語聴覚士に期待される、もしくは必要なスキルについて学ぶ。		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	管理栄養士の仕事を説明できる①	プロジェクター 配布資料	参考図書の該当頁を通読しておくこと
		各コマにおける授業予定	医療施設・介護施設で働く管理栄養士と言語聴覚士の連携についてを学ぶ		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	管理栄養士の仕事を説明できる②	プロジェクター 配布資料	参考図書の該当頁を通読しておくこと
		各コマにおける授業予定	地域で働く管理栄養士と言語聴覚士の連携についてを学ぶ		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	病院での多職種連携を説明できる	プロジェクター 配布資料	参考図書の該当頁を通読しておくこと
		各コマにおける授業予定	病院における多職種(主に看護師)の役割を学ぶ		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	コミュニケーションで大切なことを説明できる	プロジェクター 配布資料	参考図書の該当頁を通読しておくこと
		各コマにおける授業予定	これまでの価値観を変容するためにジェンダーを学ぶ 人との関係性において必要なバウンダリーについて学ぶ		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	これからの社会に必要な視点を説明できる	プロジェクター 配布資料	参考図書の該当頁を通読しておくこと
		各コマにおける授業予定	動画視聴し、インクルーシブについて学ぶ 地域生活を支える上でSTに期待されていることを学ぶ		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	関連職種(摂食嚥下障害)との連携について説明できる	・映像機器 ・PCスライド ・配布資料	事前学習として、これまでに学習した摂食嚥下障害について復習をしておく
		各コマにおける授業予定	映像を通じて摂食嚥下障害領域での関わりについてを学ぶ		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	地域言語聴覚療法学について包括的に振り返り、信頼される言語聴覚士として働くために必要な内容であることを説明できる。	講義スライド 配布資料	参考図書の通読
		各コマにおける授業予定	地域言語聴覚療法学について包括的に振り返り、信頼される言語聴覚士として働くために必要な内容を学ぶ。		